

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：<http://j-jafra.jp/>

巻頭レポート

駅からの情報発信 実証実験プロジェクト

『JRSTAMP(ジェイアールスタンプ)』が
仙台駅で始動株式会社ジェイアール東日本企画
仙台支店
JRSTAMP運営事務局

東日本大震災の被災経験を背景に、駅からの情報発信、実証実験プロジェクトが仙台駅で始動

駅利用者が求める情報・コンテンツを、その内容にあわせて最適なデジタルデバイスを選択し、駅からの情報として発信する実証実験プロジェクト『JRSTAMP(ジェイアールスタンプ)』が仙台駅で始動しました。仙台エリアで発足した背景には、東日本大震災での被災経験があります。未曾有の震災下で、駅も、駅で事業展開を行うグループ各社も、お客さまに最適な方法で最適な情報を発信することの重要性を痛感しました。震災直後より、東日本旅客鉄道仙台支社ホームページには遅延・運転見合わせなど運行情報や振替輸送情報を求めるお客さまからのアクセスが集中しました。また、食料品・生活用品が手に入らない中で、「駅店舗はいつ営業を再開するのか」といったショッピング

に関わる情報も検索されました。

ここで我々が課題として認識したのが次の2点です。

- ① 鉄道情報も、ショッピング情報も、お客さまは「仙台駅」という1つの大きな括りの中で情報検索される
- ② PCや携帯電話・スマートフォンなど、デジタルを活用して情報検索される

デジタルを活用した情報発信につままして、我々がその可能性を強く確信した1つのエピソードがございます。東北総合サービスが市中で展開する生鮮食品館・仙台原ノ町ビボットにて、震災3日目より他店に先駆け営業を再開したところ、「お店が開店し



JRSTAMP ロゴ

ている」という口コミがTwitterを介して瞬く間に拡がり、

最大500人超の長蛇の列ができました。同様の現象が仙台駅NEW DAY Sでも再現されました。この一連の流れを目の当たりにし、我々も生活者のデジタルリテラシーの進化にあわせた対応が必要であることを認識しました。当プロジェクトでは、スマートフォンやタブレット型PC、デジタルサイネージなど、最新のデジタルデバイスを駆使した情報発信の可能性を検証します。

「駅」という大きな括りの中で、旬な情報を常に収集できる体制構築のため、運営委員会を発足

駅に関わるあらゆる情報を発信するためには、駅で事業展開する全てのグループ会社および店舗様より、旬な情報を常に収集できる体制の構築が必要でした。JR東日本グループでも初めての試みかと思いますが、東日本旅客鉄道仙台支社事業部・営



スマホ版 JRSTAMP 画面イメージ

業部・仙台駅、東北総合サービス、JR東日本リテールネット仙台支店、仙台ターミナルビル、日本レストランエンタプライズ仙台支社、ジェイアール東日本企画仙台支店と、仙台エリアで事業展開する主要各社による運営委員会を発足しました。

企画会社が一同に集い、コンテンツ企画や新しい広告メニュー開発など新たに取り組む試みについての是非を話し合う定例会議を、月1回の



JR 仙台駅告知ビジュアル



ペースで設けています。また、ジェイアール東日本企画仙台支店内に運営事務局を設置。常時5〜7名体制で情報収集・管理、コンテンツ・広告企画、デザイン・制作、お問い合せ対応などを担当しています。

様々なデジタルデバイスを活用した情報発信を行うための核は、駅データベースの構築にあります。JRSTAMPでは、施設・店舗情報にとどまらず、お土産・お弁当やレストランメニューまで、商品レベルでの情報収集を行っています。これらに時刻表・運行情報など鉄道関連情報も加え、仙台駅データベースとして一元管理しております。このデータを活用し、スマートフォンにもデジタルサイネージにも、同じ情報・コンテンツを一括で配信できるシステムを構築しました。

スマートフォン版 (iPhone・Android 対応、www.jrstamp.com) を2012年3月15日に先行リリース。「ニーズで検索、マップでみつける」をテーマに、「駅で牛タン・寿司を堪能したい」・「具材や価格で仙台駅弁を探したい」といったニーズで商品・店舗を検索、場所をマップで確認できるサービスです。「デジタルクーポン」や「なんでもランキング」など、購買行動を促すプロモーション的なコンテンツも配信。加えて、時刻表・運行情報など鉄道情報、Suica対応



デジタルデバイス群対応ラインナップ (予定)

ロッカーの空き情報なども手元で確認頂けます。

仙台駅のポスター・デジタルサイネージ (TAD ビジョン)・165インチ大型ビジョン (i-station)、併せて店舗内ポスターで告知を行っており、平均70〜100人/日のサイトアクセスがあります。

PC版を7月下旬にリリース、年末に屋内位置測位技術による現在地連動型ナビゲーションも

7月23日にPC版 (web.jrstamp.com) をリリース、同タイミングについて、165インチ大型ビジョン「i-station」での仙台駅ニュースボードコンテンツ提供を開始しています。お客さまが自ら情報検索されるPull型 (PC・スマートフォン)、駅利用者に日々情



webのトップページ

報提供を行う
Push型（デ
ジタルサイ
ネージ）と、
情報受発信の
アプローチが
異なるデバイ
スを取り揃え
ます。また、
9月以降には

駅のサービスマネージャーのお客さま対応をサポートするツールとしてタブレット型PC版、タッチ操作によってお客さまが自ら情報検索できるスタンドアローン型サイネージナビゲーションへの対応を予定しています。

年末には、スマートフォンを活用し、Wi-Fi電波を活用した屋内位置測位技術導入による、現在地位置連動

型ナビゲーションの実施を検討中です。

駅を舞台にグループ総力で 新規事業開発を行う、 新たなビジネスモデルの プロトタイプに

新サービスを会社・セクション横断して次々に企画・検討できる運営

委員会と、情報・コンテンツを一元管理・一括配できる駅データベース・配信システム。この2つが両輪となり、駅を舞台にグループ総力で新規事業開発できる体制が生まれました。現在の取り組みに、将来のJR東日本グループが目指すべき新たなビジネスモデルのプロトタイプとしての可能性も強く感じています。

平成24年度定期総会を開催

6月29日（金） ホテルメトロポリタンエドモントで多数の会員が出席して開催した。

6月29日（金）14時20分、ホテルメトロポリタンにおいて、平成24年度定期総会を開催し、平成23年度事業報告及び決算、協会役員の選任案、平成24年度事業計画及び予算などを審議した。

冒頭、岩崎会長が、本協会も7年を経過し、事業内容が逐次整備されてきていると思うが、これから本格的に取り組まなくてはいけない課題が山積している。簡単なことではないことは承知しているが、協会の信

用を高めるという意味でも、こういった課題に真剣に取り組む必要があり、いずれは全体の利益に大いに貢献することになると信じている。と挨拶があった。

審議内容は以下のとおり。

第1号議案・第2号議案

平成23年度事業報告及び平成23年度決算については、河田専務理事の



監査報告をする監事稲川一氏

説明と稲川一監事代表の監査報告の後、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案通り議決された。

第3号議案

理事・監事選任について

当協会の理事は定款16条に基づき、平成24年度定期総会終結時をもって任期満了となる。役員選任については定款第14条で「総会において正会員の役員等の中から決議によって選任する」とあり、本会の前に行われた理事会において取りまとめられた選任案を会場に諮り、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案通り議決された。

なお、会長、副会長、専務理事及び常任理事の役職については定款第14条2項に基づき総会終了後、理事会を開き選出したものである。

同じく、支部長・支部長についても、

定款施行規則第13条（委員長）および定款施行規則第10条（支部の運営）に基づき選出した。

（新役員一覧は9・10ページに）

報告事項

平成24年度事業計画について

1. 基本方針

前年来低迷を続けてきた景気は第2四半期から徐々に回復の兆しをみせてはいるが、国際的にはEU諸国の債務危機の影響、わが国のTPPへの加盟に伴う諸問題、国内的には消費税増税問題などを抱え、政治の混乱もあって、依然デフレスパイラルを脱却することができず、24年度も広告業界においては厳しい状況が続くものと考えられる。



議事を進行する岩崎議長

これにかんがみ当協会としては24年度以降の会費のあり方について、抜本的に検討を加えた結果、二年來行ってきた会費の割引方式ではなく、現状を事態として捉え、会費負担を概ね現行制度の15%程度縮減する方向で会費規則の改定を行なうこととした。この結果生ずる協会会費収入の減については、昨年度と同様、諸経費の節減や一部事業計画の見直し等により、年度の収支均衡に努めることとする。

これにより24年度の協会運営もタイトとなることは避けられず、この点について会員各位のご理解ご協力をお願いしたい。

具体的な事業計画については、左記のとおりであり、その中でも第6回地球温暖化防止キャンペーンの実施、第3回マナーキャンペーンの実施、e-販促データシステムの改修（JAFRAシステム）、JAFRA環境方針の策定、さらには鉄道広告の主流としてのデジタルサイネージの普及、アカウンタビリティ特別委員会の設置などを24年度の主要課題として取組むこととする。

2. 各委員会の主な活動目標

総務財務委員会

・新規会員への入会促進

・支部活動活性化支援
・年次報告書の作成
・他広告団体との交流

総務・財務委員
長渡泰三委員長

総務・財務委員会の主な活動は、協会の運営、事業、催事、財務管理などに関する総括的な施策の検討です。昨年の6月、12月、今年の3月と3回理事会を開催しました。今年も、会員の拡大、更に、最も大きなテーマは年次報告書の作成です。皆さまのお手元に昨年度の協会の活動が収まっておりますのでご理解いただけたと思います。皆さまにも色々ご協力いただきありがとうございます。他、支部活動の活性化の支援、他の広告団体との交流などを昨年同様行なっております。

倫理委員会

・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握

・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
・マナーキャンペーン継続実施
・広告倫理に関する事例研究会の実

施
・日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員会
清水英明委員長

24年度事業計画の最初にあげておりますのは倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握です。2つ目に、鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施、この件は各支部で実施していただいています。3つ目マナーキャンペーン継続実施は、当初JAFRAだけで行なっておりましたが、国交省の進めているマナーキャンペーンと連携し、共同で取り組むこととなりましたのでよろしくご承知おきの程お願いいたします。広告倫理に関する事例研究会の実施、日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換などを行なっております。

美観風致委員会

・環境委員会と共同による第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施
・美観事例の収集と紹介

・美観風致に関する教育研修

美観風致委員会

滝久雄委員長

環境委員会と共同による第6回地球温暖化防止キャンペーンの実施、美観事例の収集と紹介、美観風致に関する教育研修を実施いたします。

環境委員会

・「JAFRA環境方針」の配布

・環境保全への取り組み状況の実態把握

・環境に関する手引書の検討

・第6回地球温暖化防止キャンペーンの実施

環境委員会

神田橋治委員長

「JAFRA環境方針」の周知徹底のために、ポスターを作成し、会員各社へ配布いたします。環境問題はJAFRAにとって比較的新しいテーマであり、様々な研究を重ねてきておりますが、その中で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステムは、環境省が策定した環境

アクション21というものがありません。これを参考にして協会独自の環境施策に今年度は取り組んで行きたいと思えます。具体的には、電気・水・ガス・紙等の削減ということになるかと思えます。このようなマネジメントシステムを投入して環境保全への取り組み状況の実態把握をし、そのための手引書を作成するといったことに取り組んでいきたいと思えます。また、美観風致委員会と共同で第6回地球温暖化防止キャンペーンの実施をいたします。

安全委員会

・「絵で見る安全作業マニュアル」(改訂版)の発行

・作業手順マニュアル及びチェック集の素案作成

・安全管理に関する調査研究

・安全作業に関する教育研修の実施

・安全作業に関する実設訓練の実施

安全委員会

稲垣義孝委員長

「絵で見る安全作業マニュアル」(改訂版)の発行ですが、既に在京の委員を中心とした編集

委員会と、安全委員会全体で文言部分を決定し、現在理解を助けるためのイラストを制作して、秋の教育研修に間に合うように進めております。作業手順マニュアル及びチェック集の素案作成については、基礎資料の収集は既に終え、安全マニュアルの発行後文書化を進めています。安全作業に関する教育研修は、秋に首都圏支部と共同で行ないます。

標準化委員会

・2012年度版「全国鉄道広告料金



表」の協会ホームページへの収録、公開

・業務近代化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウンタビリティ対策・データ整備への取り組み

・デジタルサイネージに関する標準化の検討

標準化委員会

正盛和彦委員長

2012年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録及び公開は既に終了しております。業務近代化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウンタビリティ対策・データ整備への取り組みは、数年来の課題ですが、先ほどの理事会で承認され、アカウンタビリティの向上に関する別の委員会を作りそこで進める予定です。デジタルサイネージに関する標準化の検討を進めてまいります。

人材育成委員会

・「交通広告ビジネス概論」一部差替え部分の配布

・鉄道広告実務者研修の実施

・セミナー、シンポジウムの開催

人材育成委員会

小野寺忠之委員長

昨年は「交通広告ビジネス概論」を3年ぶりに発行し、研究に携わった皆さまには御礼を申し上げます。その一部差替えということで新しい情報に差し替えたと思います。鉄道広告実務者研修を充実させ実施いたします。各地区でセミナー、シンポジウムを開催いたします。

技術開発委員会

- ・デジタルサイネージに関する情報の共有化とネットワーク化の促進
- ・新技術を活用した鉄道広告の取り組み
- ・その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化

技術開発委員会

浅沼唯明委員長

デジタルサイネージに関する情報の共有化とネットワーク化の促進ということで、ネットワーク化は、そのエリア毎の媒体をつないでいくということ、デジタルサイネージ化に伴い、現在東京・名古屋・大阪でネット

ワーク化できるという商品もできましたし、更に北海道から九州まで日本列島をつないだレールウェイネットワークメディアといったものを作りたいという構想です。新技術を活用した鉄道広告の取り組みは、2年ほど前からNFCが現実のものになりつつあります。NFCとスマートフォンを組み合わせて作る鉄道広告の革新の時代がそこまで来ているので、進めていきたいと思っています。その他、鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化は、メーカーの方と座談会、セミナーを行なう予定です。



調査研究委員会

- ・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・e販促データシステムの改修(JA FRAシステムへ)
- ・広告料金、利用者数、輸送人員等のマーケティングデータほか提供
- ・媒体活用事例の調査と紹介
- ・マーケティング講演会の開催

調査研究委員会

栗原圭一委員長

効率的なメディアプランニングに関する研究の促進、e・販促データシステムの改修は、システム自体が古くなってきており新しいWindowsに対応できないという弊害が出てきておりますので、Web化も目指し、今年度から検討をはじめます。媒体活用事例の調査と紹介、マーケティング講演会の開催については、ほかの委員会と協力して進めてまいります。

業務近代化委員会

- ・標準化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウンタビリティ拡充・データ整備

- ・業務近代化に関する課題の提言
- ・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員会

柳館毅委員長

標準化委員会・調査研究委員会と共同によるアカウンタビリティ拡充・データ整備ということで、JA FRAの会員各社多くの皆さまにご活用いただけるような共通の指標を作ることについて注力してまいります。業務近代化に関する課題の提言は、デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討も含め、業務近代化に関する課題の提言ということで活動していきたいと思っております。

PR委員会

- ・「JA FRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
- ・ホームページを活用した、情報発信の強化
- ・鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
- ・関係する外部機関との連携強化

PR委員会

石塚正孝委員長代理

河田専務理事

「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、更に掲載内容の充実していくよう努力いたします。また、ホームページを活用した、情報発信の強化、鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトを開設して充実した内容にしていきたい。

3. 各支部の主な活動目標

北海道支部

- ・支部幹事会の開催(4月)
- ・支部総会の開催(4月)
- ・媒体会議の開催(年4回)
- ・研修会の開催(24年秋季)
- ・新規会員の入会懇漣
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施

北海道支部

石見誠嗣支部長

例年通り、媒体会議等を通じて会員各社相互繁栄に向けて情報交換を進めていきます。地

球温暖化防止キャンペーンなど、本部と足並みをそろえた取り組みを進めてまいります。札幌駅周辺地区は、昨年の3月以降、地下歩行空間で大通りと札幌駅が結ばれ、大変多くの交通量が生じております。ここに、この7月1日にJRタワー札幌ピラービジョンというデジタルサイネージ60インチ×64面を設置し、新たな広告媒体として活用いただく予定です。札幌の中心市街地で最も通行料の多いエリアですので、高い媒体価値を発揮するのではないかと期待しております。また、今年の5月には北海道電力管内の原子力発電所が全て停止し、今年の夏の電力需給というのは大変タイトなことが予想されておりますが、支部としても保有している媒体のLED化を鋭意進め、電力使用量の節減をしながら、計画停電という最悪の事態を避ける努力をしていきます。

東北支部

- ・支部総会の開催
- ・支部セミナーの開催
- ・関東・関西地区媒体開発事例の東北支部への導入の検討

- ・新規会員の入会懇漣
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施

東北支部

佐藤俊一郎支部長

今年揚げた、支部のメニュー

は、昨年行なう予定であったことがそのままスライドしてきており、昨年は活動らしい活動がほとんどでございましたので、今年度は普通の支部活動をしたというレベルです。この1年東北支部会員の会費免除など、本部をはじめ他支部の皆さまから篤いご支援をいただきましたことをこの席で、支部を代表してお礼を申し上げます。最近の状況については、年次報告書に掲載してありますので、ご覧いただければと思います。最近、宮古、気仙沼に行ってきましたが、まだ復興を語るという段階ではありません。テレビに映っている仙台市内はほとんど傷跡が何もないという状況で1年前に何かあったのかという感じがですが、浜のほうへ行きますと一面青々とした草原になっており、よほど想像力を働かせないとここに家があったことが分からない状況です。広告業界もダメー

ジが大きかった代理店も非常に多いので、支部の活動を元に戻すといってもなかなかそう簡単に行かないのですが、みんながんばって進めたいと思いますので、引き続きご支援よろしく申し上げます。

首都圏支部

- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施

- ・鉄道広告実務研修の実施
- ・セミナーの開催
- ・支部総会の開催
- ・地域間交流の促進
- ・新規会員の入会懇漣
- ・マナーキャンペーンの実施

首都圏支部

佐々木正幸支部長

活動項目は昨年とほぼ同様ですが、昨年との変更点は、2月に実施していた支部総会を、この本部の総会を受けて以降実施することとして、今年度からは、7月下旬実施を予定しています。地球温暖化防止キャンペーンとマナーキャンペーンは、本部の活動計画にあわせて実施いたします。また、鉄道広告実務研修、

セミナーの実施は、昨年、3回開催する予定で、特に地域間交流の促進という観点から仙台で実施する予定でしたが、残念ながら実現しませんでした。ですので今年度は地方で実施することを検討しています。

中部支部

- ・支部総会の開催(6月予定)
- ・支部セミナーの開催
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施(8月予定)
- ・マナーキャンペーンの実施

中部支部

石塚正孝支部長代理
河田専務理事

支部総会と支部セミナーを合わせて7月20日に開催します。地球温暖化防止キャンペーン、マナーキャンペーンも予定通り実施いたします。

近畿・中国・北陸支部

- ・幹事会の開催「7月9日(月)・3月上旬予定」
- ・支部定期総会・懇親会の開催「7月

9日(月)」

- ・支部セミナーの開催「7月9日(月)」
- ・交通広告実務研修会(支部会員の社員対象)「9月上旬予定」
- ・地球温暖化防止キャンペーン実施に向けての推進(エキからエコ)
- ・マナーキャンペーン実施に向けての推進
- ・デジタルサイネージ化・ネットワーク化等に伴い、視察及び情報の共有化
- ・業界諸団体との連携強化(各媒体社広告会等の団体・OAAA・関西交通広告協議会等々)
- ・本部各委員会との情報共有化と連携強化
- ・新規会員の入会懇懇(正会員、賛助会員)

近畿・中国・北陸支部

浅沼唯明支部長

支部セミナーは毎回専門家をお呼びして開催しています。今回も業界の最新の動向をしつかりと説明していただける人を予定しております。交通広告実務研修会も、入れ替わりが激しいものですから、初級コース、中級コースなどにあつたそれぞれのテーマで毎回地道にやっていきたいと思ひます。デジタルサ

イネーじ化・ネットワーク化等に伴う、視察及び情報の共有化ということで、先進事例が東京を中心にあつたので、できるだけ早く見せていただき、情報に共有化して鉄道業界全体のためにもやって行きたいと思ひつております。業界諸団体との連携ということ、OAAA等とも今後益々連携を密にしたいと思ひております。

四国支部

- ・支部総会の開催(6月)
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施(8月)
- ・支部会員交流会の開催(12月)
- ・視察研修会の開催(25年2月)
- ・新規会員の入会懇懇

四国支部

高橋利治支部長代理
河田専務理事

支部総会を昨年同様開催し、視察研修は来年の2月に予定しております。他キャンペーンも予定通り開催します。

九州支部

- ・支部総会の開催(12月)
- ・支部セミナーの開催(12月)
- ・支部運営会議の開催(4月、11月、平成25年3月)
- ・支部運営会議の開催(4月、11月、平成25年3月)
- ・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・JAFRANEWSへの掲載及び本部各委員会との連携強化

九州支部

藤内支部長代理 河田専務理事

支部総会、セミナーは併せて12月に、支部運営会議については、年3回開催の予定です。西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携を図りたいと思ひております。キャンペーンは予定通り開催いたします。

3. 今後の協会行事計画

・理事会

第2回 11月 期日未定

第3回 25年3月期日未定

他、第6回地球温暖化防止キャンペーン展開計画についての報告があった。

以上をもって15時48分、平成24年度定期総会は滞りなく終了した。

同日、総会終了後、音楽家の元カシオペアのキーボードプレイヤーで、熱狂的な「鉄道ファン」としても知られている向谷実氏をお迎えし、「創る喜び、感じる喜び」と題してセミナーを開催した。



音楽家でもあり鉄道ファンとしても活躍中の向谷実氏

その後、開かれた懇親会ではなごやかに会員の皆さまは親睦を深め合っていた。

なお、総会に先立って開催した平成24年度第1回理事会において、特別委員会の設置が了承された。詳細は以下の通り。

◎ 特別委員会の設置について

アカウンタビリティ対策・拡充・データ整備への取り組みの進捗を図ることを目的として、下記の通り特別委員会を設置することとしたい。

名称 アカウンタビリティ向上委員会



懇親会に出席された皆さま



来賓の挨拶をする
国土交通省鉄道局 参事官 竹田 浩三氏

委員長

正盛 和彦 株式会社オリ

副委員長

コム代表取締役社長

栗原 圭一 株式会社ムサ

シノ広告社 代表取締役社

長

柳館 毅 株式会社電通

OOH局長

岩田 天植 株式会社博報

堂DYメディアパート

ナーズ アウトドアメ

ディア局 局長

設置時期

平成24年7月2日(月)

以上

新役員一覧

会長(1名)

今木 甚一郎 公益社団法人
日本鉄道広告協会



挨拶をする今木新会長

会長代行副会長(1名)

小暮 和之 (株)ジェイアール
東日本企画



乾杯の発声をする小暮新副会長

副会長(4名)

滝 久雄 (株)NK B

間宮 泰三 協立広告(株)

野村 勝彦 (株)メトロアド

エージェンシー

(株)ジェイアール

西日本コミュニ

ケーションズ

常任理事（10名）

阿久津 光志	(株)ジェイオール東海エージェンシー
小野寺 忠之	(株)春光社
川端 友泰	(株)東急エージェンシー
神田橋 治	(株)TOMOE
栗原 圭一	(株)ムサシノ広告社
清水 英明	(株)近宣
富田 栄次	(株)大阪オリコム
正盛 和彦	(株)オリコム
柳館 毅	(株)電通
渡辺 文雄	(株)日交西部本社
理事（23名）	
浅井 栄一	京阪電気鉄道(株)
足立 洋平	名古屋鉄道(株)
岩田 圭祐	(株)京急アドエンタープライズ
上山 英樹	南海電気鉄道(株)
梅原 昌弘	東京急行電鉄(株)
大津 英敏	多摩美術大学
勝見 亮助	(社)日本雑誌協会
吉良 次雄	(株)ジェイオール四国企画
高成田 潔	(株)小田急エージェンシー
田中 里沙	(株)宣伝会議
田中 龍治	九州旅客鉄道(株)
出口 正典	西日本鉄道(株)
富田 恭史	西武鉄道(株)
仁平 次雄	(株)日交
畑中 一浩	東京地下鉄(株)

日野 正夫	東日本旅客鉄道(株)
平川 敏彦	北海道旅客鉄道(株)
水野 正幸	(株)ジェイオール九州エージェンシー

宮田 亮平	東京藝術大学
茂木 正大	小田急電鉄(株)

矢尾 弘	近畿日本鉄道(株)
------	-----------

山口 正人	西日本旅客鉄道(株)
-------	------------

米田 龍司	(株)日本宣交社
-------	----------

専務理事（1名）

河田 健治	公益社団法人 日本鉄道広告協会
-------	-----------------

監事（4名）

稲川 一	(株)文宣
------	-------

矢田 武男	(株)中央廣告
-------	---------

宍戸 旦	公益社団法人 日本広告審査機構
------	-----------------

佐々 亨	(株)東京メディア・サービス
------	----------------

〈退任〉 13名

浅沼 唯明、石塚 正孝、	
--------------	--

岩崎 雄一、加藤 正仁、	
--------------	--

金田 収、佐々木 信幸、	
--------------	--



懇親会で退任の挨拶をする岩崎前会長

白水 清隆、清水 公男、	
高橋 利治、藤内 哲夫、	
長渡 泰三、林 香弘、	
稲垣 義孝	

委員長・支部長

総務・財務委員長

清水 英明	(株)近宣
-------	-------

倫理委員長

神田橋 治	(株)TOMOE
-------	----------

美観風致委員長

滝 久雄	(株)NKB
------	--------

安全委員長

佐々 亨	
------	--

(株)東京メディア・サービス	
----------------	--

環境委員長

富田 栄次	(株)大阪オリコム
-------	-----------

標準化委員長

正盛 和彦	(株)オリコム
-------	---------

人材育成委員長

小野寺 忠之	(株)春光社
--------	--------

技術開発委員長

坂田 英洋	
-------	--

(株)ジェイオール西日本コミュニケーションズ	
------------------------	--

調査研究委員長

栗原 圭一	(株)ムサシノ広告社
-------	------------

業務近代化委員長

柳館 毅	(株)電通
------	-------

PR委員会委員長

阿久津 光志	
--------	--

(株)ジェイオール東海エージェンシー	
--------------------	--

北海道支部長

石見 誠嗣	
-------	--

(株)北海道ジェイ・オール・エージェンシー	
-----------------------	--

東北支部長

佐藤 俊一郎	
--------	--

(株)ジェイオール東日本企画 仙台支店	
---------------------	--

首都圏支部長

小暮 和之	
-------	--

(株)ジェイオール東日本企画	
----------------	--

中部支部長

阿久津 光志	
--------	--

(株)ジェイオール東海エージェンシー	
--------------------	--

近畿・中国・北陸支部長

坂田 英洋	
-------	--

(株)ジェイオール西日本コミュニケーションズ	
------------------------	--

四国支部長

吉良 次雄	
-------	--

(株)ジェイオール四国企画	
---------------	--

九州支部長

水野 正幸	
-------	--

(株)ジェイオール九州エージェンシー	
--------------------	--

（平成24年6月29日 敬称略）

第6回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーンを開催！

エキからエコ。―地球温暖化を、一枚の環境アートから考える。

今年も当協会では2012年8月3日(金)～8月31日(金)の期間、全国のJR、私鉄、地下鉄36社の協力を得て、各鉄道の駅及び車両内のポスター枠を使った今回で6回目になる地球温暖化防止キャンペーンを実施いたします。

このキャンペーンは、地球温暖化防止という公共性、社会性の高いテーマに対し、省エネ交通機関である鉄道に活動の基盤をおく業界の立場から社会に警鐘を鳴らし、CO₂排出量の少ない社会の実現に寄与することを目的としています。

今回もJR、私鉄、地下鉄を含む36社の鉄道メディアを全国の拠点エリアで集中的に活用して延べ50万枚のポスターを掲出いたします。

また今回から、J・ADビジョン(首都圏ターミナル他14駅)での展開を行ないます。また、ホームページを活用して、これまでの5回の作品を閲覧できるアーカイブスを作成します。

前回同様、現代を代表する著名芸術家及びクリエイターがキャンペーン趣旨に賛同し、ボランティアで制作に参加していることも大きな特徴のひとつです。

つです。

全体を統一するコピーは「エキからエコ。地球温暖化を、一枚の環境アートから考える。」とし、4人の著名アーティストによる「美しい環境と野生生物」をポスターテーマにした内容となっています。

1. 実施期間

2012年8月3日(金)～8月31日(金)

2. ポスター種類

車内ポスターB3×4種類

駅ポスターB1×5、B0×4種類
デジタルポスター(J・ADビジョン)

3. 制作協力

ビジュアル提供…

宮田亮平氏

金工家／東京藝術大学学長

「シュプリングエン 翔」

大津英敏氏

洋画家／

多摩美術大学造形表現学部長

「セーヌ川のホワイトティ」

手塚雄二氏

日本画家／東京藝術大学教授

「麗糸」

日比野克彦氏

アーティスト／

東京藝術大学教授

「HORUS」

アートディレクター…蝦名龍郎氏

コピーライター…マキプロ

4. 主催 公益社団法人日本鉄道広告協会

5. 協賛 財団法人日本宝くじ協会

6. 後援 環境省、国土交通省

7. 協力 小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、山陽電気鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、福岡市営地下鉄、北海道旅客鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、横浜新都市交通(株)

(36社、五十音順)



宮田亮平 作
「シュプリングエン 翔」

日比野克彦 作
「HORUS」

手塚雄二 作
「麗糸」

大津英敏 作
「セーヌ川のホワイトティ」

テーマポスター

就任のごあいさつ

会長 今木 甚一郎



岩崎雄一前会長のあとを仰せつかりました、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆鉄道広告の本質は、駅や車両、あるいは駅ナカ商業施設といったリアルな空間を広告メディアとして利用し、それらの空間を様々な媒体を使って、より美しく、快適でインテリジェントなものに仕上げて、そして生活動線上にある一人でも多くのお客様に、タイムリーかつ印象的に情報をお届けし、少しでも多くのモノやサービスのお買い上げに貢献することにあるのではないかと思います。

◆そのためになすべきことは、まさに山程ある訳ですが、今日ま

で会員各社を始め、関係の皆様方の大変なご努力で大きな成果をあげています。

◆一方、昨今の世界や我が国の政治・経済情勢は、まさに大変革期の真只中にあり、未だ先の見えない混沌とした厳しい状況にあります。

◆また、社会現象や技術の面では、いわゆるIT化が猛烈な勢いで進んでいます。

◆鉄道広告の分野もそれらの影響をまともに受けている訳ですが、何とかこの大きな変化に対応し、チャンスに変えていかなければなりません。

◆当協会としても、当面、アカウンタビリティの向上、新規広告媒体の開発と普及促進、各種キャンペーンの効果的・効率的推進、など多くの課題を抱えています。

◆私共協会一同、全力を挙げて取り組み所存でありますので、どうぞ会員各社及び関係の皆様方の絶大なる御支援、御協力を心からお願い申し上げます。

委員会からのお知らせ

平成23年度年次報告書を発行しました



年次報告書編集プロジェクトを結成して今年の2月から進めてまいりましたJAFRAの一年の活動成果を、「年次報告書」として整理し発行することができました。同報告書では、平成23年度の協会の動きを記録として留めてあるほか、広告業界の動向についてもレポートとしてまとめてあります。今回も昨年に引き続き、佐藤俊一郎東北支部長に、東日本大震災から1年以上経った現地の状況などにつきましても寄稿をいただきました。

来年度の発行に向けて参考にあがりますので、会員の皆さまのご意見ご感想などありましたらお寄せいただきたいと思います。

6月29日発行 A4 84ページ

編集後記

あつという間に暑くなって夏本番になりました。今年も電気を押さえるために、扇風機を回しています。頭の高さで風に当たるよりも、足元から風が吹き上がってくるほうが涼しく感じられるのですが、気のせいでしょうか？

暑さに負けないようにウナギをと思ったのですが、ウナギの値段も高騰しているので、代りにアナゴ丼を。ウナギよりワイルド(?)な味わいで気に入っています。

次回の発行は10月ですので、皆さまの「今年の秋のお薦め」をお寄せ下さい、お待ちしております。



●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ (<http://j-jafra.jp>) の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力をお願いします。